

Vol.
85



©AMUSE_Photo
Takahiro Sakai

荒井 里桜 ● ヴァイオリン *Rio Arai*

1999年東京都出身。東京藝術大学音楽学部を特待奨学生として在籍したのち、首席卒業。ローザンヌ高等音楽院卒業。第15回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞。第87回日本音楽コンクールバイオリン部門第1位。第20回ハチャトゥリアン国際コンクール第3位及びシュベルト・インタープリテーション特別賞を受賞。

NHK響、読売日響、ローザンヌシンフォニエッタ、アルメニア国立響、マカオ管、東京響、東京フィル、新日本フィル、東京シティ・フィルハーモニック管、群馬響、関西フィル、大阪響、大阪フィル、セントラル愛知響、仙台フィル、日本フィル、神奈川フィル、藝大フィル等と共演。題名のない音楽会、NHKをはじめ、ラジオやメディアへも多数出演。

2023、2024年度ロームミュージックファンデーション奨学生。高崎芸術劇場T Shotシリーズより、デビュー盤「RIO ARAI in Concert」をリリース。

現在の使用楽器は、(株)日本ヴァイオリンより貸与の1837年製「J.F.Pressenda」。

これまでにジェラルド・ブーレ、永峰高志、澤和樹、山崎貴子、堀正文、玉井葉採、ジャニヌ・ヤンセンの各氏に師事。



©Seiji Okumura

五十嵐 薫子 ● ピアノ *Kaoruko Igarashi*

2022年に第76回ジュネーヴ国際音楽コンクールのピアノ部門で第3位、およびRose-Marie Huguenin Prizeを受賞。

6歳から、桐朋学園子どものための音楽教室でピアノを学び、桐朋学園大学を首席で卒業。皇居内の桃華楽堂での御前演奏会に出演し、また同年のベルギー王妃来日の際にも、御前演奏会を行った。桐朋学園在学中は、第84回日本音楽コンクール第3位、併せて最も印象的な演奏に贈られる三宅賞を受賞するほか、ピティナ・ピアノコンペティションB級金賞、特級銅賞、ショパン国際ピアノコンクールin ASIA全国大会金賞、アジア大会銀賞、日本ショパン・ピアノコンクール第3位ほか受賞多数。これまでに東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、ヤナー・チェク・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。室内楽では、ワディム・レービン、徳永二男、長谷川陽子らと共演しているほか、2020年の第89回日本音楽コンクールで、チェロ部門の共演者として審査員特別賞を受賞。NHK-FM『リサイタル・パッショ』『ブラボー・オーケストラ』などに出演。

これまで今泉紀子、山田富士子、村上弦一郎、横山幸雄、岡本美智子の各氏に師事。

2010年桐朋学園高等学校奨学生、14年桐朋学園特別奨学生、14～15年明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学生、16年にはライブツピのメンデルスゾーン・アカデミー奨学生、17～18年桐朋学園仙川キャンパス特待生、18年～19年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

Vol.
86



©Susanne Diesner

中川 優芽花 ● ピアノ *Yumeka Nakagawa*

ドイツに生まれ育った日本人ピアニスト。2021年、スイスで開催された権威あるクララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝、および聴衆賞ほかもあわせて受賞した。またデュッセルドルフで開催されたロベルト・シューマン国際コンクール(2019)、およびイエネ・タカーチ国際コンクール(2018)でも優勝している。2014年にワイマールで開催された「若いピアニストのためのフランツ・リスト国際コンクール」では第2位に入賞。

2019年以降ロンドンのウィグモア・ホール、デュッセルドルフのトーン・ハレ(ゾイ・ツォカス・指揮デュッセルドルフ交響楽団と共演)、ワイマール・ハレ(マルクス・L・フランク指揮のイエナ・フィルハーモニー管弦楽団と共演)などで演奏している。サント・ペテルブルクで開催された第16回マリンスキー国際ピアノ・フェスティバルにも招待された。

2022～23シーズンはクリスティアン・ツァハリアスが指揮するホーフ交響楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を、また同じくツァハリアスの指揮でボルト・カーザ・ダムジカ管弦楽団とモーツァルトの2台のピアノのための協奏曲KV365を演奏した。またクララ・ハスキル国際コンクールの開催地ヴュエでヴュエ・クラシック・フェスティバルに出演した。

2001年デュッセルドルフで生まれ、デュッセルドルフのロベルト・シューマン音楽大学にてバーバラ・シュツェパンスカのもと音楽の教育を受け始め、ロンドンのパーセル音楽院ではウィリアム・フォンに学ぶ。2021年よりワイマールのフランツ・リスト音楽大学においてグリゴリー・グルズマン教授のもと研鑽を積んでいる。

2022年3月、クララ・ハスキル国際優勝後初の来日リサイタルは大絶賛を浴び、以後大阪フィル、名古屋フィル、大阪響、都響、アンサンブル金沢、神奈川フィル、東フィル、読響、兵庫芸術文化センター管など国内の主要なオーケストラと共演を重ね、行く先々で絶賛されている。



Happiness Hill
One Coin Concert

Vol.
87



©AyaneShindo

クインテット・アッシュ ● 木管五重奏団 *Quintet A*

2006年結成。活動を呼びかけたクラリネット奏者濱崎、調和を意味するハーモニー、家や故郷を意味するホーム、それぞれの頭文字「H」をフランス語読みにし命名。結成と同時に助地域創造アウトリーチ・フォーラムアーティスト、助地域創造公共ホール音楽活性化 事業登録アーティストを経て、現在は同支援事業アーティストとして、日本各地でアウトリーチ、コンサートを重ね、地域に密着した音楽活動を展開。これまでに「HUMORESQUE」「Pulcinella」「Mamere l'Oye」の3枚のアルバムをリリース。メンバーそれぞれが多彩な音楽経験を持ち寄り紡ぎ出す音楽は、日本を代表する木管五重奏団の一つとして注目を集めている。

宮崎 由美香 ● フルート

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。在学中、アカンサス音楽賞を受賞。NTTドコモより奨学金を授与される。NHK交響楽団アカデミー生として研鑽を積む。第15回日本木管コンクール第2位、第12回日本フルート・コンヴェンション・コンクール第2位、第23回日本管打楽器コンクール第2位。宮崎国際音楽祭、軽井沢国際音楽祭等に参加。現在、尚美ミュージックカレッジ非常勤講師。

最上 峰行 ● オーボエ

桐朋学園大学音楽学部中退。第69回日本音楽コンクール・オーボエ部門第3位。小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭、ヤングプラハ国際音楽祭等に参加。ソリストとしてプラハ国立劇場管弦楽団、セントラル愛知交響楽団等と共演。現在、東京交響楽団オーボエ&イングリッシュホルン奏者。ARCUS、エロイカ木管五重奏団の各メンバー。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。

濱崎 由紀 ● クラリネット

東京藝術大学附属音楽高校、同大学首席卒業、同大学院修了。在学中、安宅賞、アカンサス音楽賞を受賞。NTTドコモより奨学金を授与される。第71回日本音楽コンクール第3位。PMF、セイジ・オザワ松本フェスティバル、宮崎国際音楽祭等に参加。現在、藝大フィルハーモニー管弦楽団、横浜シンフォニエッタ、シアターオーケストラトウキョウのクラリネット奏者。聖徳大学音楽部兼任講師。

石川 晃 ● ファゴット

東京藝術大学卒業。第15回日本管打楽器コンクール第3位。2006年、文化庁新進芸術家海外留学制度派遣研修員として北ドイツのリューベック音楽大学に留学。サイトウ・キネン・フェスティバル松本、宮崎国際音楽祭等に参加。現在、新日本フィルハーモニー交響楽団ファゴット奏者。ARCUS、ファゴットアンサンブルドル・チシモ、地域舞台創造T Msの各メンバー。洗足学園音楽大学非常勤講師。

猪俣 和也 ● ホルン

国立音楽大学卒業。在学中、学内オーディション合格。卒業後、桐朋学園大学嘱託演奏員を務める。第4回コンセル・マロニエ21金管楽器部門審査委員賞、第5回宮日音楽コンクール優秀賞を受賞。小澤征爾音楽塾、東京のオペラの森、帝国劇場や宝塚のミュージカル等に参加。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団ホルン奏者。名古屋芸術大学非常勤講師。